

表 化学混和剤の性能

項目	試験*1	AE剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE減水剤			高性能AE減水剤		流動化剤			
					標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形		
セメント		普通ポルトランドセメント3種等量混合														
骨材		砕石 最大寸法20mm														
セメント量	kg/m ³	300	350	300	300			300			350		320			
スランブ	cm	8	8	8	8			8			18		8 → 18 *3			
空気量	%	基準+3	基準+1以下	基準+1以下	基準+1以下			基準+3			基準+3		4.5 *4			
細骨材率	%	基準-1~-3	基準±2	基準と同一	基準-1~0			基準-1~-3			基準±2		基準と同一			
減水率	%	○	6以上	12以上	-	4以上	4以上	4以上	10以上	10以上	8以上	18以上	18以上	-	-	
ブリーディング量の比	%	△	-	-	-	-	100以下	-	70以下	70以下	70以下	60以下	70以下	-	-	
ブリーディング量の差	cm ³ /cm ²	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10以下	0.20以下	
凝結時間の差	分	○	始発	-60~+60	+90以下	-	-60~+90	+60~+210	+30以下	-60~+90	+60~+210	+30以下	-60~+90	+60~+210	-60~+90	+60~+210
	分		終結	-60~+60	+90以下	-	-60~+90	0~+210	0以下	-60~+90	0~+210	0以下	-60~+90	0~+210	-60~+90	0~+210
圧縮強度比	%	○ *2	-	-	120以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	%	△	-	-	130以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	%	○ *2	95以上	115以上	-	110以上	110以上	115以上	110以上	110以上	115以上	125以上	125以上	90以上	90以上	
	%	○ *2	90以上	110以上	90以上	110以上	110以上	110以上	110以上	110以上	110以上	115以上	115以上	90以上	90以上	
長さ変化比	%	△	120以下	110以下	130以下	120以下	120以下	120以下	120以下	120以下	120以下	110以下	110以下	120以下	120以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数)	%	△	60以上	-	-	-	-	-	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	
経時変化量	スランブ cm	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0以下	6.0以下	4.0以下	4.0以下	
	空気量 %		-	-	-	-	-	-	-	-	-	±1.5以内	±1.5以内	±1.0以内	±1.0以内	
塩化物イオン量	kg/m ³	○	I種：0.02以下、II種：0.02~0.20以下、III種：0.20~0.60以下													
全アルカリ量	kg/m ³	○	0.30以下													

*1 性能確認試験は○印の試験を実施する。形式評価試験は○と△印の両方の試験を実施する。

*2 性能確認試験のうち圧縮強度試験は1年に1回実施する。

*3 スランブ 8cm の基準コンクリートを流動化させてスランブ 18cm の試験コンクリートにする。

*4 基準コンクリートと試験コンクリートの空気量は共に 4.5±0.5 % とする。